

# 四日市地区(宇佐市) ～ 四日市門前町まちづくり～

計画期間	平成18年度 ～ 24年度
面積	13.6 ha
全体事業費	445,600 千円
市人口	61,000人 (うち地区内3,800人)

## まちづくりの目標

### 九州御坊四日市・ゆったりとした時の流れが感じられる町

四日市は400年以上の歴史の流れがあり今日まで受け継がれてきた文化と伝統的歴史的なまちなみがある。東西本願寺四日市別院が並び立ち、九州御坊と呼ばれ、勇壮な瓦屋根と山門がある。門前には瓦屋根と軒が連なる伝統的なまちなみがあり、東西別院とともに懐かしい”いらかの風景”を今に遺し伝える。

## 主な事業内容と事業費・事業期間

通路整備	97.0百万円	H18～H20	小公園・緑地等	138.9百万円	H18～H24
集会交流所	55.5百万円	H23～H24	道路・水路の美装化	51.1百万円	H19～H24
案内板等設置	2.5百万円	H19～H24	照明設置	5.0百万円	H19～H24
無電柱化	19.6百万円	H21～H24	修景施設整備	76.0百万円	H19～H24



小公園整備



道路の美装化



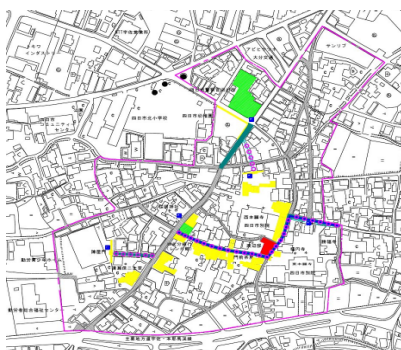
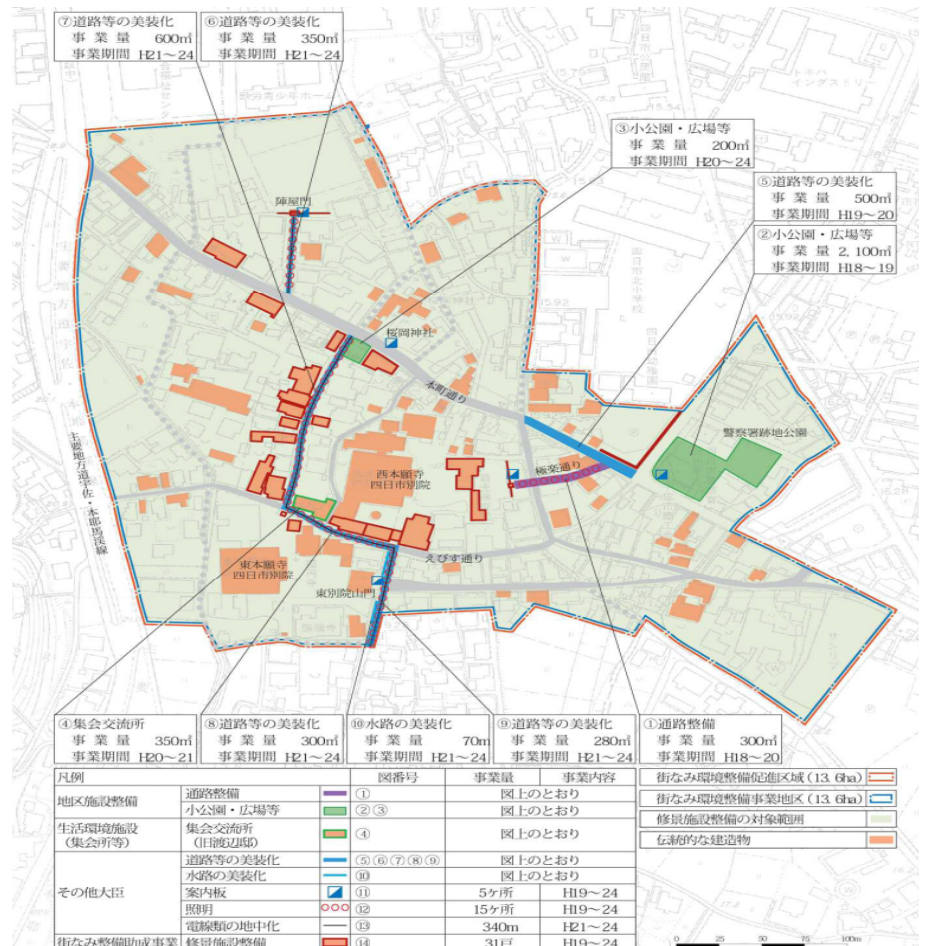
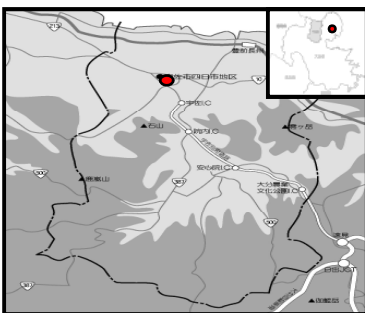
道路の美装化



修景施設整備



通路整備(極楽通り)



## 地区の歴史・風土

四日市は、400年以上の歴史を有し、門前町、宿場町、陣屋町として栄えてきた経緯をもつ。

四日市地区は、天文22年(1553)渡辺筑後守光が佐賀の波多郷鬼子嶽(きしだけ)城より四日市切寄に移り住み、まちづくりをはじめたことに始まるとされている。四日市の地名は筑後守光が鬼子嶽城より蛭子宮を迎え、桜岡神社を開設。毎月4日、神前で市を開いていたことからといわれている。

元文2年(1737年)の真勝寺騒動を契機に、東西別院が生まれ、九州御坊と呼ばれ九州の東派、西派寺院の総監を司る事となる。筑後守光によって開かれた四日市は、東西別院の寺勢拡大とともに門前町として繁栄してきた。

## 地区の現況と課題

旧宇佐市全体の人口は減少、世帯数は増加傾向にある。これに対して四日市地区は、人口、世帯数ともに減少傾向にあり中心市街地の空洞化が進行している。

四日市地区は、九州御坊の門前町として栄えてきた町であり、今も宇佐市の中心市街地としての役割を担っているが、郊外部や国道10号沿道への商業施設等の流出などが相次ぎ、他の地方都市と同様に衰退の傾向が伺えることから、住環境の整備を図り、うるおいのある住宅市街地を形成するとともに伝統的歴史的なまちなみを活用し、四日市地区の活性化を図ることが望まれる。

## 事業取り組みと成果

街なみ環境整備事業の整備期間は、平成18年度から開始し平成27年度までの10カ年を計画している。整備の優先順位の考え方として、目指す将来像を効率的に達成できる事業箇所、街なみ整備と地区施設整備が一体的に進められる可能性の高い事業、費用対効果の高いと思われる事業を優先的に整備する。現在、警察署跡地の公園イベント広場の整備、極楽通りの整備、横町通りの整備が完成し、それと関連して建物の修理、修景及び街なみ整備も行われている。完成した公園イベント広場や通りでは各種イベントや、街なみ散策等を行い、まだ広く知られていない四日市の歴史的な遺産を紹介する場となっている。

## 地区の主なイベント・食

本願寺四日市別院で、毎年12月11日から16日までの六日間にわたって行われるお取り越しという行事は、浄土真宗の開祖である親鸞聖人の命日が1月16日であることから、浄土真宗の本山・本願寺で1月9日より16日まで行う御正忌(ごしょうき)報恩講(ほうおんこう)という法要を、四日市別院をはじめとする別院では、一ヶ月はやめて12月に開催することからお取り越しという名称がつけられています。この時期には、九州各地より多くの人が法要におとずれ、出店等で賑わいます。その他に、桜岡神社で開催される天神祭りや四日市七夕祭りなどがあり地区を代表するイベントとなっています。また、四日市のかつての食文化を広め感動を与えられるよう、人材の育成・特産品・メニューの定着に向け、伝承クラブ宇佐のメンバーにより、門前食の研究を行っています。

## 地区のまちづくり協議会・地域の活動

地区の個性や特性を活かしたまちづくりを行うため、平成3年に四日市アーバンデザイン会議が発足され、現在も積極的な活動が行われている。また、平成16年には四日市門前町の歴史的街なみの保全、修復及び景観整備の推進をもって、宇佐市中心市街地の活性化を図ることを目的に、「四日市門前まちづくり推進協議会」の発足、翌年には「整備区域内代表者協議会」を結成し、協議を重ねるとともに、一般市民を交えた「街なみ散策」等を年間3回程度開催しており、中心市街地の再生・活性化を見据えつつ四日市門前町地区のまちづくり活動に努めている。

## これからの取り組み

第1期計画(H18~20)では門前広場、極楽通りなどの整備が行われ、つづく第2期計画(H21~24)では横町通り他3路線の道路美化や区域内に案内版、照明等の設置、また、地域住民の協力を得て行う個人住宅の修理・修景整備を行っている。国から認可を得ているのはこの第2期計画までであり、第3期事業へ継続する為には、第2期事業途中の段階で、かなりの費用対効果(総事業費に対する地元活性化指数)を示すことが必要となり、第3期事業へつなぐためにも門前町まちづくり推進協議会をはじめとする地域住民によるソフト面の取組の充実が必要不可欠となる。



東西別院



横町通り



山門前通り



お取り越し(灯籠で作ったニータン)



研究中の門前食



街なみ散策

事業のお問い合わせ先

宇佐市役所  
都市計画・高速道対策課  
TEL 0978 - 32 - 1111